

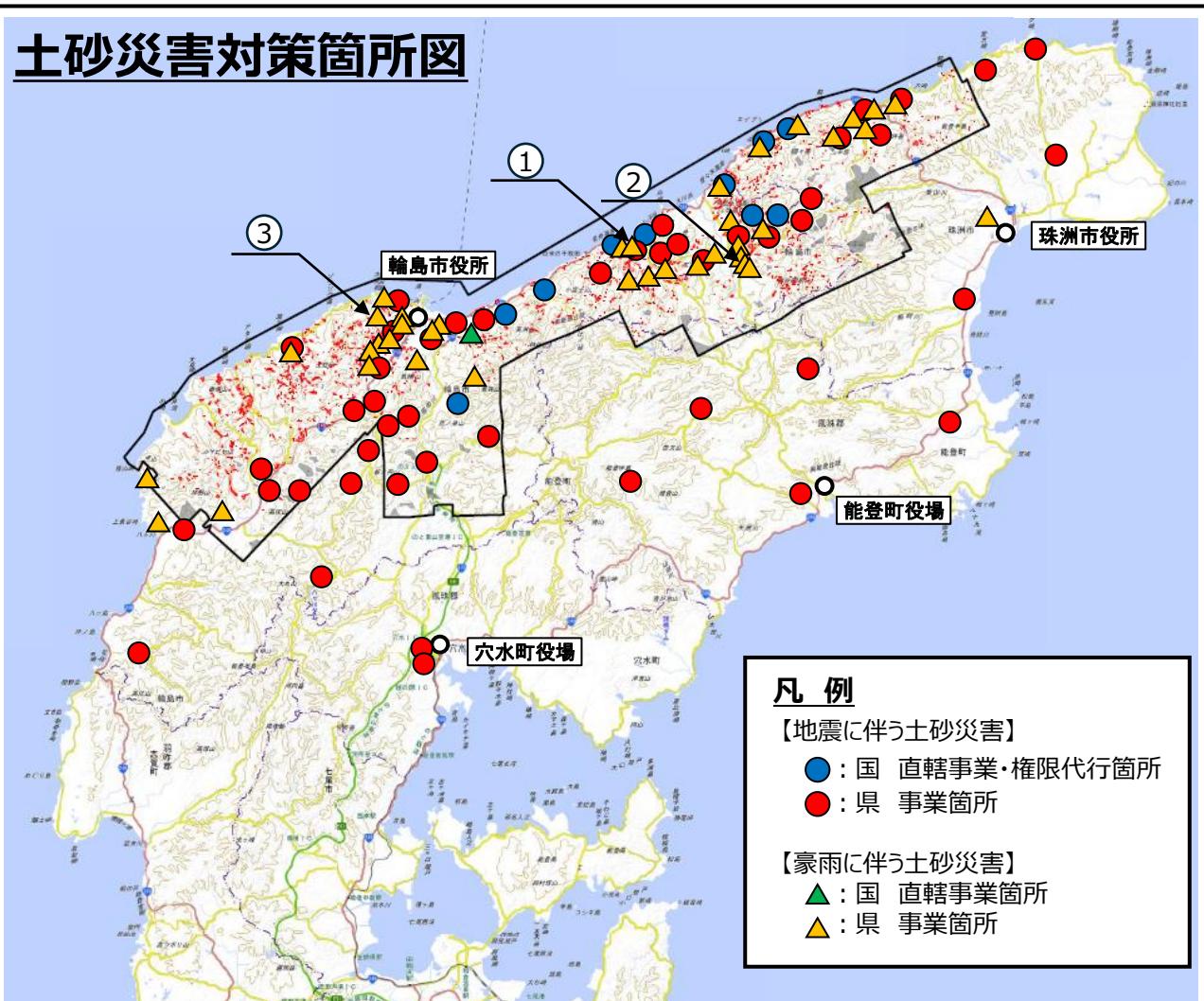
土砂災害箇所の復旧状況

能登半島地震や奥能登豪雨では、多くの土砂災害が発生しました。県土木部では、大規模な土砂災害が発生した94箇所について、砂防施設の復旧や対策施設の整備を進めることとしています。

豪雨による被災箇所のうち、人家や道路に隣接し二次災害のおそれがあるなど、緊急に対応が必要な24箇所について、国の支援も受けながら、流木や堆積土砂の除去、仮設堰堤の設置等の応急復旧を進め、梅雨前（5月末）までに作業を完了させました。

引き続き、人家へ特に甚大な被害を及ぼす恐れのある箇所から、順次、本復旧に着手することとしています。今後も、関係者と協力しながら、土砂災害対策工事の早期の完了を目指します。

土砂災害対策箇所図



復旧・復興のトピックス

梅雨前（5月末）までに、豪雨で被災した24箇所の応急復旧が完了しました。



① 尊利地川（輪島市尊利地町地内）



② 若桑川3号（輪島市町野町寺山地内）



③ 釜屋谷（輪島市釜屋谷町地内）